

令和4年度 乳児院ひまわり 自己評価結果

項目	内容	A	B	C	着眼点(%) チェック数	今年度結果	R3年度結果
I 養育支援の基本方針と組織	1 理念基本方針が明文化され確立・周知が図られている	22	2	0	97%	a	a
	2 施設経営をとりまく環境と経営状況的確に把握・分析されている	10	10	4	75%	b	b
	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている	8	7	9	66%	c	b
	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている	15	0	9	61%	b	b
	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている	11	8	5	72%	b	b
	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している	9	8	7	75%	b	b
	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している	12	5	7	57%	b	c
	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している	14	9	1	86%	b	b
	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している	13	5	6	83%	b	b
	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている	14	7	3	76%	b	a
II 施設の運営管理	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている	12	8	4	83%	b	a
	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している	13	7	4	81%	b	a
	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している	14	7	3	80%	b	b
	14 必要な福祉人材の確保・定着に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている	13	10	1	83%	b	a
	15 総合的な人事管理が行われている	7	8	9	79%	c	b
	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる	20	3	1	85%	b	b
	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている	12	11	1	88%	b	b
	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている	13	8	3	85%	b	b
	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている	16	8	0	90%	a	b
	20 実習生等の養育・支援に関する専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている	9	14	1	80%	b	b
	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている	14	5	5	88%	b	a
	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている	12	11	0	85%	b	b
	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている	12	12	0	83%	b	a
	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	9	9	6	64%	b	c
	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている	18	5	1	88%	b	c
	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みが行われている	10	11	3	75%	b	b
	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている	8	8	8	68%	c	c
III 適切な養育・支援の実施	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている	22	2	0	99%	b	a
	29 子どもがプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている	11	13	0	89%	a	b
	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している	17	4	3	90%	b	b
	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している	19	2	3	83%	b	b
	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている	11	12	1	89%	b	b
	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている	13	7	4	88%	b	b
	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している	15	7	2	82%	b	b
	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している	10	12	2	65%	b	c
	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している	3	11	10	61%	b	c
	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている	19	5	0	92%	b	b
	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている	17	6	1	92%	b	a
	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に進めている	18	3	3	98%	b	a
	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている	22	2	0	92%	a	a
	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している	15	9	0	94%	b	b
	42 アセスメントにもとづく個別の自立支援計画を適切に策定している	18	3	3	92%	b	a
	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている	22	1	1	91%	b	a
	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている	16	7	1	95%	b	a
45 子どもに関する記録の管理体制が確立している	12	8	4	88%	b	b	
内容評価基準 A-1 子ども本位の養育支援	A1 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている	19	2	3	83%	b	b
	A2 子どもに対する不適切なかわりの防止と早期発見に取り組んでいる	17	7	0	100%	a	a
	A3 子どものこころによりよいせいで、子どもとの愛着関係を育てている	21	2	1	97%	b	a
	A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている	23	1	0	97%	a	a
	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている	18	6	0	100%	a	a
内容評価基準 A-2 養育・支援の質の確保	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている	18	1	5	96%	b	a
	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している	23	1	0	99%	a	a
	A8 栄養管理に十分な注意を払っている	20	4	0	99%	a	a
	A9 気候や室温、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている	19	2	3	97%	b	a
	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる	23	1	0	97%	a	a
	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている	19	5	0	100%	a	a
	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している	18	3	3	98%	b	a
	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している	20	4	0	93%	a	a
	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している	21	3	0	99%	a	a
	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている	18	4	2	98%	b	a
	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている	22	2	0	93%	a	b
	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している	16	8	0	95%	a	b
	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる	16	1	7	95%	b	b
	A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる	24	0	0	96%	a	b
	A20 継続的な里親支援の体制を整備している	20	4	0	97%	a	b
	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている	13	6	5	85%	b	b
	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている	13	6	5	78%	b	a
合計		1041	393	173	87%	総合評価 B	

◆全体評価基準・総合評価基準

I, (B) 393 + (C) 173 = 566

(着眼点) 数 335項目×24名=8040項目

II, 566 (B+C) < 1041 (A)

内訳 総チェック数:6974 空白数:1066

III, C評価がある。よってB評価。